

環境未来都市推進プロジェクトとして、 既存住宅のエコリノベーション事業をスタート！



～市民・市内企業を対象に、6月から公募を開始～

■ 事業の目的

家庭からのCO₂排出量は年々増え、この20年で約4割増加しています。対策のカギは生活の基盤である「住まい・住まい方」であり、省エネ型の住宅やライフスタイルの普及・定着が求められています。

本事業では、既存住宅を建て替えずに、生活様式や家族構成の変化に合わせて、環境性能や利便性の向上など、住宅の価値を高める改修を行うモデル事業を推進し、広く普及啓発することにより、民間住宅市場におけるリノベーション事業の活性化につなげていきます。

市内企業の環境技術の習得を支援する等、民間市場におけるリノベーション事業の活性化を図る

省エネ改修によるエネルギーの削減効果などをわかりやすく伝え、市民の省エネ意識の向上につなげる

既存住宅のリノベーションの横浜型モデルを構築する

⇒本事業の取組みを通して、1戸単位から街区単位への取組みにつながっていくことが期待されます。

■ 公募対象となる住宅

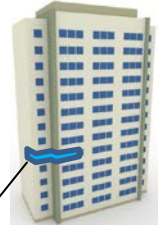
【一戸建ての住宅(1棟)】

- ◎最優秀賞・・・1事業者
(補助金額は工事費用の1/3
かつ 上限 300 万円)
- 優秀賞・・・1事業者



【共同住宅等(長屋・共同住宅)(1戸)】

- ◎最優秀賞・・・1事業者
(補助金額は工事費用の1/3
かつ 上限 200 万円)
- 優秀賞・・・1事業者



1 住戸を対象

※所有形態として、分譲・賃貸の両方を対象とします。

■ 公募対象者イメージ(今後、学識経験者等からなる委員会で審議し決定していきます。)

公募対象者(補助金交付対象者)

既存住宅所有者

(市民・市内企業)

設計事務所

(市内企業)

施工会社

(市内企業)

(連携)
+ α

事業協力者

家具・内装メーカー等

市内の既存住宅の所有者と設計事務所及び施工業者等を構成員とするグループを対象として、エコリノベーションの企画提案を求めます。

なお、より有効な事業提案につながるよう、事業協力者として家具や内装メーカー、エネルギー供給会社などとの連携を想定しています。

■ 事業スケジュール

平成 25 年 6 月頃：提案募集開始 (※公募要項は、6月上旬公表予定。)

平成 25 年 9 月頃：事業者決定

平成 26 年 3 月頃：工事完了 (今年度中に、工事完了する住宅を対象。) (裏面あり)

お問い合わせ先

建築局住宅計画課長

黒田 浩

Tel 045-671-2917

温暖化対策統括本部環境未来都市推進課担当課長

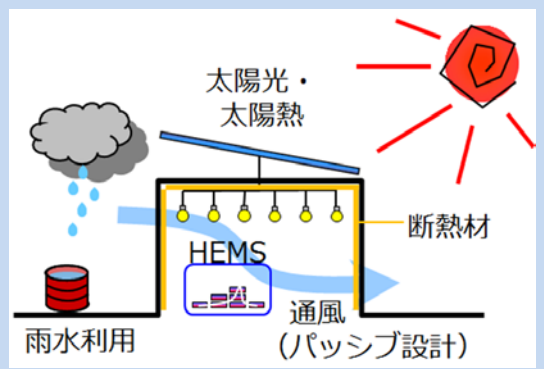
林 千賀

Tel 045-671-2336

(参考) 公募で求める提案内容のイメージ

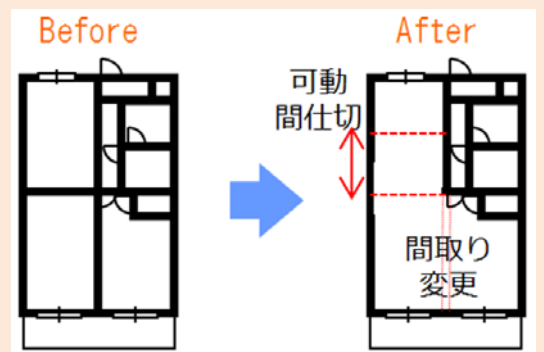
【提案内容①】 省エネ改修提案

- ・ 自然エネルギーの活用や断熱性・気密性を向上させる設計・改修内容の提案
(サッシ・壁・天井等の断熱性能の向上、耐震改修に併せた断熱材の改修工事 等)
- ・ 省エネ、創エネ設備の提案
(太陽光パネル・HEMSの設置 等)



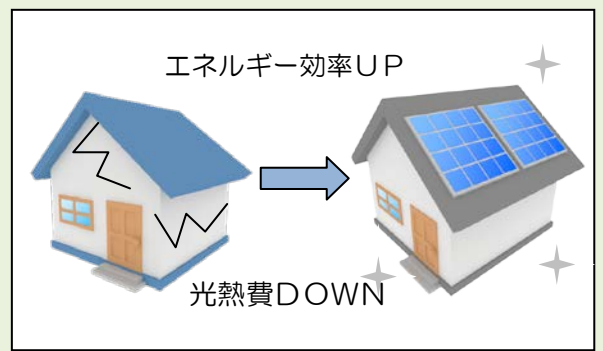
【提案内容②】 ライフスタイル提案

- ・ 生活様式や家族構成の変化に合わせた改修提案
(間取り変更、家具による間仕切、ルームシェア 等)
- ・ 環境に配慮した住まい方・工夫の提案
(緑化、すだれ、窓・カーテンの開閉、エネルギーを使用しない住まい方 等)



【提案内容③】 普及啓発提案

- ・ 市民・市内企業への普及につなげる提案
(モデルルーム見学会、公開期間の設定 等)
- ・ エネルギーの削減効果(工事前後)の測定、効果の検証方法
(温湿度の変化、風通しの変化、電気等の使用量・住まい手の実感 等)



【提案内容④】 期待される効果

- ・ 周辺地域への波及
- ・ 市内企業・市内経済の活性化
- ・ 市民へのエコ意識の喚起



●環境未来都市推進プロジェクトとは…

横浜市は、平成 23 年 12 月、国から「環境未来都市」に選定されており、その取組の一環として、環境未来都市推進プロジェクトを進めています。本事業は、市民生活の基礎となる「住まい」・「住まい方」を切り口に、省エネルギーな住宅やライフスタイルの普及を図る「スマートな住まい・住まい方プロジェクト」の一環として進めるものです。